

フェアプレイインタビュー  
【競泳】  
金藤理絵さん



**プロフィール**  
生年月日: 1988年9月8日  
出身地: 広島県  
好きなお菓子: チョコレート  
**リオデジャネイロ  
オリンピック  
女子200m平泳ぎ  
金メダル**

全力が結果を引き寄せる  
心躍るような泳ぎで金メダル

険しい金メダルへの道

金藤理絵さんは小学3年生の頃に水泳を始め、小学校の卒業文集には将来の夢として「オリンピックで金メダル」と書きました。しかし、その夢を叶えるまでの道のりは平坦ではありませんでした。高校時代にはインターハイを制し、2008年の北京オリンピックでは7位入賞とメダル獲得に近づいていたのですが、次の2012年ロンドンオリンピック



では力を出し切れず出場を逃してしまいました。

全力の行動が私のフェアプレー

「出場を逃して、自暴自棄になり、水泳を辞めようと考えてきました」と当時の心境を振り返ります。その時、コーチから自信を失ったまま水泳を辞めてはいけないと引き留められたものの、気持ちを切り替えられずに過ぎていきました。そして、2016年リオデジャネイロオリンピックを1年後に控えた世界選手権で、思う結果が出ず泣いていた時にも、コーチから全力に見えなかったと指摘されました。「自分では全力のつもりだったので、最初は反発しました。しかし、見返してみると、積極的な泳ぎができていなかったと気づきました。観る人をワクワクさせ、自身も熱くなる泳ぎをしないとイケないと奮起しました」と話します。

「そこから全力を尽くすということを言葉だけでなく、行動で示しました。気持ちを入れ替え、取り組む姿勢が変わりました」と自身の変化を語ります。その後オリンピック出場を決め、見事女子200m平泳ぎで金メダルを獲得し、小学生の頃からの夢を叶えたのです。

何事にもチャレンジする気持ちを

読者のみなさんには、「色んなことにチャレンジする中で新たな発見をたくさん見つけてください。その中で今までは違った考え方が生まれます。学生時代は様々な人や出来事に触れ、幅広い考え方を育ててほしいと思います」とアドバイスを送ってもらいました。



**金藤さんが大切にしている言葉**

**勇気** - ゆうき -

「勇気」にはたくさんの意味があります。

- ・信じる勇気
- ・一歩踏み出す勇気
- ・覚悟を決める勇気

勇気を出して私は課題を乗り越え、金メダルを獲得できました。

フェアプレイストーリー  
応援のバトン〜吹奏楽部の取り組み〜  
高校野球

第100回 全国高等学校野球選手権大会 準決勝にて

日大三高は金足農高に敗れてしまった

しかし試合後

金足農高の吹奏楽部が乗るバスに

私たちの分まで頑張ってください！

私たちが分まで頑張ってください！

龍谷大平安高の吹奏楽部は負けたこととわれずこちらを思いやり一杯応援してくれた

実は日大三高は、その前の試合で自分たちに敗れた龍谷大平安高と同じことをしてもらっていた

私たちが分まで頑張ってください！

その夜のミーティングで

僕たちもあんな風になりたい！

龍谷大平安高さんの気持ちを受け取った私たちが繋ごう！

龍谷大平安高から学んだことや受け取った気持ちを次へと繋いでいこうと約束した

だから金足農高に敗れた時

悔しい気持ちを抑えて一杯の声を届けたのだ

たまたまその場に居合わせた人々にも感動を与え

SNSなどを通じて広く伝わっていった

みんな繋いでいこう

龍谷大平安高から日大三高そして金足農高へと受け継がれた応援のバトンを